

日 時：1月14日（日）

参 加：宮本、岡本、嶋原（記）

河内長野駅発8時45分のバスで終点のロープウェイ前で下車、集まったのは3人で、先週の清荒神と同じく寂しい人数である。みなさん寒いので炬燵の番でもしているのであろう話をしながらスパッツを履きいざ出発（9：40）宮本さんはアイゼンを着ける。我々2人はこの雪であれば大丈夫とアイゼン無しで歩きはじめる。予定では念仏坂から伏見峠の予定であったが、道路道を歩くのは面白くないので、最短コースの文殊尾根を登る事となる。早朝から登っている人が多く下山する人が多い中、抜きつ抜かれるなどしながら歩くと、山頂30分前から樹氷がきれいである。写真をバチバチ撮りながら山頂へ着く。（11時過ぎ）1時間以上の昼食タイムをとる。

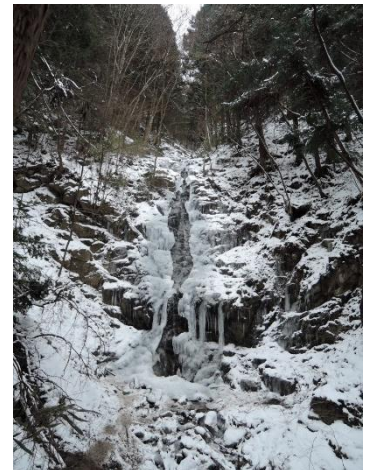
下りはどのルートを取るか検討するが決まらず出発、下りなので全員アイゼンを着ける。結果タカハタ道からツツジオ谷を下る事に決まる。（下山途中で見た事のある人とすれちがう（上の原さん）



山頂での樹氷



山頂広場より



氷瀑

カハタ道に合流し金剛登山口バス停へ着く。（14時過ぎ）河内長野駅前の居酒屋で一杯飲み打ち上げ、ご苦労様でした。